

施策 9 文化財の保存と活用

指標 1	【項目】 伝統的建造物の復原等修理費への助成件数			【説明】 川越の町並みを市民や来街者が歩いて体感できるよう実施した伝統的建造物の復原等修理費助成の累計件数				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	件	75	78	82	86			93
担当課評価								
【担当課】 都市景観課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・経過目標程度の修理事業等を計画的に実施しています。 								
指標 2	【項目】 重要伝統的建造物群保存地区の防災に関する活動への参加人数			【説明】 重要伝統的建造物群保存地区及びその付近に整備した防災設備を使用しての防災訓練等の参加人数				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	人/年	35	8	12	59			50
担当課評価								
【担当課】 都市景観課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・過去2年間は、コロナ禍の影響により従来までと同様の内容での開催が難しく、規模の縮小などを余儀なくされていましたが、令和4年度においては、コロナ禍を踏まえて開催日時や内容等を工夫したことで、目標値を超える参加がありました。 								
指標 3	【項目】 河越館跡地の史跡公園整備事業進捗率			【説明】 国指定史跡河越館跡の指定範囲内における史跡公園整備事業の進捗率				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	30.4	33.4	36.4	36.6			50.0
担当課評価								
【担当課】 文化財保護課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗はおおむね順調です。 ・令和4年度は、保存活用計画策定に向けて検討を行いました。また、関係課と史跡外の未整備地に敷設する道路整備に向けて協議を進めました。 ・令和5年度は未整備地の整備事業が予定されているため、今後も進捗率が上昇する見込みです。 								
指標 4	【項目】 郷土学習を受けた学級数			【説明】 文化財保護課・博物館職員による出前授業とバス利用による博物館内授業を受けた学級数の合計				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	学級	266	74	185	304			285
担当課評価								
【担当課】 文化財保護課 博物館 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・コロナ禍の影響が薄れつつあり、文化財保護課と博物館の職員による出前授業や、バス利用による博物館を訪れた学級数は、令和3年度から大幅に増加し目標値を達成しました。 								

施策 9 文化財の保存と活用		総合評価
		A
総合評価について	<p>進捗は順調であり、評価も良好です。令和3年度と比べ全ての指標において、実績値が目標値を達成、またはこれに近づいており、文化財の保存と活用についての活動ができています。なお、国内最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、国指定史跡とすることを目指し、関係機関と協議を進めてきましたが、令和4年度に国史跡に指定されました。今後も文化財の保存に努めるとともに、文化財の価値を生かした活用を図れるよう取組を進めます。</p>	
学識経験者等 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財の継承を課題として捉えているが、地域による活動状況の差異については、地域間でノウハウを共有し反映できるような仕組みを考えていく必要があると考える。 ・重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実の中で、伝統工法の技術継承のために、令和4年度から工業系大学へのヒアリングや工業高校へのアンケート調査を実施しているとのことだが、非常にユニークな取組であるため、今後も取り組んでいただきたい。 ・河越館跡の整備・活用については、広大な土地を取得しており注目が集まることから、計画的に整備を進め、有効的に活用していただきたい。 ・国指定史跡となった山王塚古墳の保護については、史跡の保存活用のため計画的な土地の公有化を進めていただきたい。 ・第三次川越市教育振興基本計画策定時に、文化財に関する教育を進めていくよう強い意見があったが、川越の歴史は旧石器時代まで遡れるため、子ども達に対しバリエーションを増やして伝えていくことを続けていただきたい。 	

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	①文化財の保存と活用			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えるために、文化財の保存に努めるとともに、関係各課と連携し、文化財の価値を生かした活用を積極的に図ります。 ・文化財を次代に継承するため、所有者支援の在り方について関係者とともに検討します。 ・効率的な試掘・確認調査等の実施により、埋蔵文化財に関する基礎情報の収集に努め、工事関係者との保護調整により、埋蔵文化財の効果的な保存を図ります。 ・未指定を含めた文化財について、地域社会とともにその保存・活用を総合的かつ計画的に実行するため、文化財保存活用地域計画を策定します。 				
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査件数 83件（発掘調査件数 13件、試掘調査件数 70件） ・その他文化財調査件数 29件（令和元年度～令和4年度は『川越市の文化財』発刊に際しての確認調査が多かったが、事業が完了したため、令和5年度以降は平年並みに戻ると予想される） ・永島家住宅（旧武家屋敷）見学者数 1,454名、教育施設等へ埋蔵文化財貸出件数 5件、博物館等での県指定文化財の公開件数 1件 				
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	文化財調査件数（件）	36	48	29	
現状・課題	現状				
	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査は、民間の開発に伴う試掘・発掘調査が多い状況です。 				
課題解決のための取組	課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・その他文化財調査は、突発的な事案が多いため、優先度を考慮し計画的に調査を実施する必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査は、民間の開発計画に合わせて実施できるよう今後も努めます。 ・その他文化財調査は、調査方針を検討し計画的な調査が実施できるよう努めます。 ・文化財の調査結果を、令和5年度策定予定の「川越市文化財保存活用地域計画」の方針に反映させます。 				

細 施 策	②無形民俗文化財の保存と後継者の育成			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援します。 ・後世に伝えるための後継者育成の取組を積極的に支援します。 ・映像や画像による記録を行い、保護団体による文化財の伝承に活用できるよう努めます。 				
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者養成・保存事業実施団体数 12件 ・民俗文化財保存修理件数 22件 （市単独補助1件、令和3年度補正予算補助金21件：国指定6件、国指定外15件） 				
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	後継者養成事業実施団体数（件）	13	12	12	
現状・課題	現状				
	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能後継者養成や祭礼行事の保存、用具の保存修理等の事業に対し、保護団体に補助金を交付しました。また、修理に関する相談について、技術的な指導・助言を行いました。 ・文化庁の令和3年度補正予算事業の補助金を利用した用具修理について、多数の保護団体が交付を希望したため、事務局として申請の支援をしました。 ・コロナ禍により減少していた民俗芸能練習等の活動は、ゆるやかに再開しつつあります。 				
課題解決のための取組	課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化等の影響もあり、地域の伝統行事や民俗芸能の継承が課題です。 ・保護団体の活動が休止している無形民俗文化財行事においては、映像等記録保存が進んでいません。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能の後継者養成、祭礼行事の保存、用具の保存修理のため、補助金に関する情報を収集するとともに、適切に補助金を保護団体へ交付していきます。 ・特に継承が難しくなっている民俗芸能・祭礼行事について、それぞれの行事や芸能が持つ特性を踏まえて問題点を整理し、解決策を保護団体と検討していきます。 ・地域の方々と協議しながら、無形民俗文化財行事の映像による記録保存を計画的に進めます。 				

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	③重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	担当課	関連指標
		都市景観課	指標1
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物の保存修理等を実施し、あわせて官民連携による保存技術の継承や、担い手の確保と育成等に努めます。 ・ 伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備に努めます。 <p style="text-align: right;">その他の関連指標: 指標2</p>		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修理事業（国庫補助対象）/小林家住宅住居棟:木工事・屋根工事・左官工事・板金工事 山崎家住宅店蔵:左官工事 小谷野家住宅土蔵:木工事・屋根工事・左官工事・板金工事 大畑家住宅主屋:左官工事 ・ 地区の啓発パンフレット作成/伝建地区の建造物MAP ・ 歴史的建造物の保存技術の継承策の立案に伴うヒアリング調査の実施 ・ 防災訓練支援/川越まつり会館での防災訓練の開催 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。 ・ 伝統工法の技術継承のために、技術者・工業系大学へのヒアリングや工業高校の学生へのアンケート調査を実施し、課題抽出を行っています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の実施にあたり、重要伝統的建造物群保存地区内だけでなく、その付近も含めて、住民の防災意識を醸成して継続的に実施するための開催方法を検討する必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。 ・ 市が交付する補助金の財源を確保するため、文化庁等との連絡調整に努めます。 ・ 歴史的建造物の保存技術の継承策の検討に向けて、引き続き伝統工法の技術を有する技術者や関係団体等を対象としたヒアリング調査を実施します。 ・ 周知方法や開催内容を工夫しながら自治会等を中心とした防災訓練を開催できるよう努めます。 		

細 施 策	④河越館跡の整備・活用	担当課	関連指標
		文化財保護課	指標3
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土学習の場、市民の憩いの場として河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川越市河越館跡整備検討委員に保存活用計画の素案を提示し、意見聴取を実施 ・ 河越館跡史跡公園（未整備地を含む）の活用を目的とした「河越流鏑馬」を開催 参加者約3,200名 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡整備に向け、川越市河越館跡整備検討委員と保存活用計画の検討をしています。また、関係課と道路拡幅の工程やガイダンス施設等の建設に向けて協議を進めています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河越館跡の活用等については、他市の事例等を収集し、効果的な手法を盛り込んだ保存活用計画を策定する必要があります。 ・ 史跡の活用は、地域や小学校の「広場」としての利用にとどまっています。今後は中世武士の有様や中世全般の様子等が理解できるような活用を、さらに検討していく必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河越館跡の活用等のため、より具体的な保存活用計画の策定を川越市河越館跡整備検討委員会で進めます。 ・ 令和5年度は、河越館跡史跡公園の整備に向けて、史跡外の未整備地の整備事業を進めます。 ・ 令和5年度策定予定の「川越市文化財保存活用地域計画」を踏まえ、中長期的なスケジュールも含めて検討します。 		

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	⑤山王塚古墳の保護			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として国指定史跡とすることを目指し、関係機関と協議を進めていきます。 				
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年5月23日に山王塚古墳調査検討委員会を開催し、意見具申の内容について助言を求め提出書類文案の検討実施 遺構の保護に必要な範囲の地権者・占有者に国史跡指定の同意を求め、同意を得た範囲を、令和4年8月31日に文部科学大臣へ、国の史跡にするよう意見具申を実施 令和4年12月16日に国の文化審議会が、山王塚古墳を国の史跡に指定するよう文部科学大臣に答申したため、翌12月17日、18日にミニ現地見学会を実施 				
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	山王塚古墳現地説明会等参加者数（名）	—	21	124	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月20日に、国史跡に指定されました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡の保存活用のための取組を計画的に行う必要があります。 遺構の保存に必要な範囲のうち、地権者、占有者に指定の同意を得られなかった範囲があります。 史跡の価値・重要性を考えると、山王塚古墳の存在が十分に認知されていない状況にあります。 現状では大半が民有地であるため、計画的な土地の公有化が必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 山王塚古墳の整備と活用を促進するため、整備検討委員会を設置し、保存活用計画の策定を進めます。 地権者・占有者が利用している範囲以外については、除草等の環境整備を実施し、史跡の価値を目視できるように努めます。 国指定へ同意が得られなかった地権者・占有者に対し継続的に説明を行い、同意が得られるよう努めます。 市民等に対して、国指定史跡の歴史的価値を周知するため、社会教育施設などで普及啓発に努めます。 				

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (2)地域の歴史や伝統文化の継承

細 施 策	①文化財保護意識の啓発			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 先人の営みの中で生まれ、大切に護り伝えられてきた文化財の価値と保存の意義について、わかりやすく多くの人に伝え理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。 埋蔵文化財は、日常生活では目に触れることがない地下に存在することから、その周知を図るとともに、市民の保護意識の醸成に努めます。 				
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越市の文化財等を紹介するホームページの更新 公民館等への講師派遣数 22件 主催講座実施 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月1日「土器にさわって学ぼう高階の縄文時代」22名参加 令和5年1月12日、26日「発見！たかしな遺産めぐり2講座」26名参加 令和5年1月28日、2月4日「地域の歴史遺産をめぐり講座」19名参加 令和5年2月23日「川越市文化財シンポジウム」282名参加 				
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	職員を講師として派遣した件数（件）	7	11	22	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地は市内360箇所以上に点在しており、その内容を随時更新し、常時窓口で最新の情報を閲覧できるように備えています。 市内から出土した縄文土器に触れる機会を与えたり、フィールドワークを行うことで地域の文化財や歴史文化を身近に感じてもらうなど、主催講座を実施することで文化財保護意識の啓発に努めています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の情報は、個人資産に関する情報であるため、公開と保存のバランスを慎重に検討して発信する必要があります。 発掘調査に関する情報は、民間開発に伴うものを発信することは不適當ですが、公共事業については、公開することによる効果を検討し、説明会等による発信に努めます。 市内には指定文化財をはじめとする歴史遺産があるので、今後も市民に向けた地域の歴史や文化の多様な側面を理解してもらうための講座を実施することが必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 公開と保存について慎重に検討して情報発信に努めます。発掘調査は遺跡発表会や見学会の開催を常にイメージして、業務を遂行します。 				

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (2)地域の歴史や伝統文化の継承

細 施 策	②地域の歴史・伝統文化の継承に向けた学びの促進	担当課	関連指標
		文化財保護課・博物館	指標4
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が地域の歴史・伝統文化への興味・関心を高め、誇りや愛着をもって大切に継承する心を育むため、出前授業及び博物館による積極的な学習の機会の提供を図ります。 ・川越の歴史や文化を守り続けている人々から学び、自分たちの住む「ふるさと川越」を知る機会を創出し、文化を学び育てる取組を推進します。 		
令和4年度の主な実績	<p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の実施 10学級 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校利用 191学級（小学校3年生:97学級、6年生:94学級） ・出前授業の実施 103学級 ・野外博物館教室の実施 22名 ・古文書講座の実施 延べ92名 ・民俗芸能実演の実施 58名 ・博物館歴史講座の実施 延べ91名 		
現状・課題	<p>現状</p> <p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの要請により出前授業の講師として職員を派遣しています。コロナ禍の影響が薄れつつあり、出前授業による学習の機会が増加しています。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校における3、6年生の郷土学習としての博物館利用、学校からの依頼による出前授業の講師としての職員派遣を行っています。また、一般向けに川越の伝統・歴史に関連した野外博物館教室、古文書講座、民俗芸能実演、博物館歴史講座を行っています。 <p>課題</p> <p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に教員等と、対象となる児童・生徒の学習の進捗を確認したうえで、内容を協議することが必須であり、学習効果を高める工夫が求められます。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校における3、6年生の利用について、継続的に実施できるよう努めるとともに、各学校における川越の歴史・文化の学びの内容に配慮して実施する必要があります。 ・一般向けの教室・講座等について、継続的に実施できるよう内容について精査する必要があります。 		
課題解決のための取組	<p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの要請による出前授業の講師派遣や博物館での学習機会への資料提供に努めます。 ・学校を離れた地域活動に対し、「川越市文化財保存活用地域計画」の策定を通じた資料の提供や講座等の支援について検討します。 ・継続して実施できるよう、職員体制の整備を図ります。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続して実施できるよう、館内職員が協力して事業を推進できる体制づくりを図ってまいります。 		